

# 高知市行政評価制度の手引き

～限られた経費で最大の効果を目指して～

## 【政策・施策評価】

令和元年6月  
高知市



# 目次

<b>I</b>	<b>政策・施策評価の実施について</b> .....	<b>1</b>
1	令和元年度実施の政策・施策評価 .....	1
2	政策・施策評価のスケジュール .....	2
<b>II</b>	<b>政策・施策評価調書の作成</b> .....	<b>3</b>
1	政策・施策評価調書様式 .....	3
2	基本事項 .....	5
3	政策の基本方針と市民評価結果 .....	6
4	外部意見 .....	7
5	行政改革推進本部会による2次評価（最終評価） .....	7
6	成果指標等の達成状況 .....	8
7	施策の課題認識と解決の方策 .....	10
8	施策所管部局長による1次評価 .....	11

# I 政策・施策評価の実施について

## 1 令和元年度実施の政策・施策評価

### (1) 目的

2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）の骨格を成す政策・施策体系について、総合計画に記載された施策のめざすべき姿に対する方策及び手法等の検証を行い、総合計画後期基本計画及び実施計画の策定に反映すること 2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）の骨格を成す政策施策体系について、総合計画に記載された本市のまちづくりの理念、方向性に基づく方策、手法が市民ニーズに応えたものか等について検証を行い、総合計画後期基本計画の策定及び令和 2 年度に策定する実施計画に反映することを目的に政策・施策評価を実施します。

### (2) 評価対象

2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）の政策（14 項目）につらなる施策（54 項目）

### (3) 評価調書の作成単位

施策を単位として調書を作成します。基本計画に定めている成果指標が複数の部局にまたがっている場合は、それぞれの部局で該当の施策に係る評価を実施します。

### (4) 評価調書の作成者及び 1 次評価

評価調書は、各部局で作成し、1 次評価は、施策所管部長が実施します。

### (5) 外部意見及び 2 次評価（最終評価）

1 次評価結果を外部有識者による高知市行政改革推進委員会及び高知市議会へ報告し、ご意見をいただきます。

2 次評価（最終評価）は、いただいたご意見を踏まえ、行政改革推進本部会が行います。

2 次評価（最終評価）の結果を総合計画後期基本計画素案作成に活かすとともに、令和 2 年度に実施する総合計画実施計画策定作業の資料として活用します。

### (6) ホームページ公開（市民公表）

2 次評価（最終評価）後、評価調書を高知市ホームページで公開します。

## 2 政策・施策評価のスケジュール

年月	政策・施策評価	総合計画関係
H28年 12月		2011高知市総合計画（2016基本計画改訂版）策定
H29年 3月		2011高知市総合計画（2016基本計画改訂版）第3次実施計画策定
R元年 6月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">担当部局・1次評価</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">政策・施策評価シート作成</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">H28・30年度市民意識調査結果</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">外部意見</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">外部委員・市議会</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2011高知市総合計画 後期基本計画素案作成作業</div>
R元年 12月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">2次評価（最終評価）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">行政改革推進本部 （庁議メンバー）</div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ホームページ公開</div>	
R2年		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2011高知市総合計画 後期基本計画第1次実施計画 策定作業</div>

## II 政策・施策評価調書の作成

### 1 政策・施策評価調書様式

#### 令和元年度 政策・施策評価調書

総合計画体系	大綱名	01	共生の環	政策名	01	豊かな自然に親しみ、自然と共生するまち
	施策名	01	豊かな自然を育む緑と水辺の保全			
1次評価	施策所管部				部局長名	
	施策関係課				副部局長名	

#### 政策の基本方針

##### 1 政策基本方針

市域の森林の適正な維持・管理を進めることにより、山の保水力が向上し、豊かな森林環境が形成されています。その豊かな森が育んだ水は鏡川などの河川を潤し、浦戸湾から土佐湾へと注ぎ込み、良好な水環境を形成しています。こうして育まれた「緑（森林・里山）」や「水（河川・海）」などの豊かな自然環境は、多様な生態系を育み、私たちに四季折々の自然のすばらしさ、尊さを教えてくれています。

しかし、豊かな自然は安定した環境の下に成り立っているわけではなく、自然災害や人の営みなどのほんの少しかげで失われてしまうため、日々の生活やささまざまな環境保全活動、ふれあい体験などを通して、自然とのつながりを理解するとともに、高い環境保全意識を持ちながら良好な生活環境を維持することで、誰もが自然の恵みを受けて快適に生活できる社会を後世へと継承しています。

このように、豊かな自然環境が将来にわたって保たれ、誰もが自然に親しみ、自然とともに共生しているまちをめざします。

#### 施策のめざすべき姿

##### 2 施策のめざすべき姿

施策名	豊かな自然を育む緑と水辺の保全
めざすべき姿	高知市の誇れる財産である豊かな自然を守り育て、将来の世代へと継承するため、自然界における生態系の循環のしくみを理解し、それらを育む緑と水とのつながりが生まれるように、保全・再生・維持管理に継続して取り組むことで、自然と共生するまちづくりをめざします。

##### 3 施策に対する市民意識調査結果

調査結果	現在の満足度		今後の重要性		
	H28	H30	H28	H30	
平均	4.35	4.50	5.77	5.76	
性別	男性	4.17	4.47	5.79	5.72
	女性	4.48	4.53	5.77	5.79
年齢	20～29歳	4.86	5.09	6.22	5.97
	30～39歳	4.82	5.14	6.20	6.00
	40～49歳	4.63	4.71	5.95	5.87
	50～59歳	4.30	4.47	6.09	6.16
	60～64歳	4.12	4.42	5.61	6.13
	65～69歳	4.09	4.13	5.80	5.65
	70～74歳	4.10	4.14	5.65	5.47
75歳以上	4.10	4.23	5.07	5.04	

※市民意識調査の回答を8点満点で指数化したもの。  
6点以上又は4点未満の部分について強調

#### 外部意見

##### 4 外部意見

高知市行政改革推進委員会	
高知市議会	

#### 2次評価（最終評価）

##### 5 行政改革推進本部による2次評価（最終評価）

評価	評価結果の理由・コメント及び基本計画への反映・申し送り事項
A：従来の取組を維持し、施策成果を維持する	
B：従来の取組を強化し、施策成果を向上させる	
C：従来の取組を見直し、施策成果を向上させる	
D：施策自体を見直す	

### 成果指標等の達成状況

#### 6 総合計画基本計画の成果指標の達成状況

指標名	指標の説明	計画策定時 直近値	中間目標値	中間実績値	最終目標値 (令和2年度)
間伐実施面積	市内で実施する年間の間伐面積	74ha (平成27年度)	80ha		90ha
里山保全地区の指定	里山保全地区として指定した数	3か所 (平成27年度)	3か所		4か所
天然アユの遡上数	鏡川流域の環境を測る指標の一つ	18.8万尾 (平成26~28年度の 平均値)	50.0万尾(直 近3か年の平均 値)		50.0万尾 (直近3か年の 平均値)

#### 7 成果指標を補完する主な指標の達成状況(主な第3次実施計画記載事業の評価結果)

実施計画記載事業名	指標名	評価実施年度	目標値	実績値	1次評価結果	最終評価

### 施策の課題と1次評価

#### 8 施策の現状の課題認識と解決の方策

課 題	解決の方策

#### 9 施策所管部局長による1次評価

評 価	評価の理由
A: 従来を取組を維持し, 施策成果を維持する	
B: 従来を取組を強化し, 施策成果を向上させる	
C: 従来を取組を見直し, 施策成果を向上させる	
D: 施策自体を見直す	

## 2 基本事項

### 令和元年度 政策・施策評価調書

総合 計画 体系	大綱名	01	共生の環	政策名	01	豊かな自然に親しみ, 自然と共生するまち
	施策名	01	豊かな自然を育む緑と水辺の保全			
1次 評価	施策所管部				部局長名	
					副部局長名	
	施策関係課					

**大綱名** 総合計画基本計画又は第3次実施計画を参照し、評価対象となる施策の  
**政策名** 「大綱」「政策」「施策」の番号を選択してください。番号を選択すると  
**施策名** 自動で名称が表示されます。

**施策所管部** 1次評価を行う施策所管部局の名称を記入してください。

**部局長名** 部局長の名称を記入してください。  
 部局長は、1次評価の評価者となります。

**副部局長名** 副部局長の名称を記入してください。

**施策関係課** 部局の中の施策関係課について全て記入してください。

### 3 政策の基本方針と施策のめざすべき姿

#### 政策の基本方針

##### 1 政策基本方針

市域の森林の適正な維持・管理を進めることにより、山の保水力が向上し、豊かな森林環境が形成されています。その豊かな森が育んだ水は鏡川などの河川を潤し、浦戸湾から土佐湾へと注ぎ込み、良好な水環境を形成しています。

こうして育まれた「緑（森林・里山）」や「水（河川・海）」などの豊かな自然環境は、多様な生態系を育み、私たちに四季折々の自然のすばらしさ、尊さを教えてくれています。

しかし、豊かな自然は安定した環境の下に成り立っているわけではなく、自然災害や人の営みなどのほんの少しのきっかけで失われてしまうため、日々の生活やさまざまな環境保全活動、ふれあい体験などを通じて、自然とのつながりを理解するとともに、高い環境保全意識を持ちながら良好な生活環境を維持することで、誰もが自然の恵みを享受して快適に生活できる社会を後世へと継承しています。

このように、豊かな自然環境が将来にわたって保たれ、誰もが自然に親しみ、自然とともに共生しているまちをめざします。

#### 施策のめざすべき姿

##### 2 施策のめざすべき姿

施策名	豊かな自然を育む緑と水辺の保全
め ざ す べ き 姿	高知市の誇れる財産である豊かな自然を守り育て、将来の世代へと継承するため、自然界における生態系の循環のしくみを理解し、それらを育む緑と水とのつながりが生まれるように、保全・再生・維持管理に継続して取り組むことで、自然と共生するまちづくりをめざします。

##### 3 施策に対する市民意識調査結果

調査結果		現在の満足度		今後の重要性	
		H28	H30	H28	H30
平均		4.35	4.50	5.77	5.76
性別	男性	4.17	4.47	5.79	5.72
	女性	4.48	4.53	5.77	5.79
年齢	20～29歳	4.86	5.09	6.22	5.97
	30～39歳	4.82	5.14	6.20	6.00
	40～49歳	4.63	4.71	5.95	5.87
	50～59歳	4.30	4.47	6.09	6.16
	60～64歳	4.12	4.42	5.61	6.13
	65～69歳	4.09	4.13	5.80	5.65
	70～74歳	4.10	4.14	5.65	5.47
75歳以上	4.10	4.23	5.07	5.04	

※市民意識調査の回答を8点満点で指数化したもの。  
6点以上又は4点未満の部分について強調

#### (1) 政策の基本方針

2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）で示されている政策基本方針です。基本事項で政策番号を選択すると自動で表示されます。

#### (2) 施策のめざすべき姿

2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）で各施策に定められためざすべき姿です。基本事項で施策番号を選択すると自動で表示されます。

#### (3) 市民意識調査結果

平成 28 年度及び平成 30 年度の高知市民意識調査結果です。施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要性」を指数化した数値が基本事項で施策番号を選択すると自動で表示されます。

「普通」を4点として0点～8点の間で示しており、6点以上又は4点未満の項目について強調された書式になります。

## 4 外部意見

評価の結果については、外部有識者で構成される高知市行政改革推進委員会や市議会に対して報告することになりますが、その際、特に意見が出された場合に記入する項目です。施策所管部局での記入は必要ありません。

### 外部意見

#### 4 外部意見

高知市行政改革推進委員会	
高知市議会	

## 5 行政改革推進本部会による2次評価（最終評価）

行政改革推進本部会による2次評価（最終評価）の項目です。施策所管部局での記入は必要ありません。

### 2次評価（最終評価）

#### 5 行政改革推進本部会による2次評価（最終評価）

評価	評価結果の理由・コメント及び基本計画への反映・申し送り事項
A：従来取組を維持し、施策成果を維持する	
B：従来取組を強化し、施策成果を向上させる	
C：従来取組を見直し、施策成果を向上させる	
D：施策自体を見直す	

## 6 成果指標等の達成状況

### (1) 総合計画基本計画の成果指標の達成状況

#### 成果指標等の達成状況

##### 6 総合計画基本計画の成果指標の達成状況

指標名	指標の説明	計画策定時直近値	中間目標値	中間実績値	最終目標値(令和2年度)
間伐実施面積	市域内で実施する年間の間伐面積	74ha (平成27年度)	80ha		90ha
里山保全地区の指定	里山保全地区として指定した数	3か所 (平成27年度)	3か所		4か所
天然アユの遡上数	鏡川流域の環境を測る指標の一つ	18.8万尾 (平成26～28年度の 平均値)	50.0万尾(直 近3か年の平均 値)		50.0万尾 (直近3か年の 平均値)

**指標名** 2011 高知市総合計画(2016 基本計画改訂版)において各施策で設定されている成果指標について、基本事項で施策番号を選択すると自動で表示されます。中間目標値は、特に記載がない限り、平成30年度の目標値となります。

**指標の説明**

**計画策定時直近値**

**中間目標値**

**最終目標値**

**中間実績値** 特に記載のない限り、該当する成果指標の平成30年度実績値を記載してください。

**(2) 成果指標を補完する主な指標の達成状況（主な第3次実施計画掲載事業の評価結果）**

施策に設定された成果指標の達成状況では、所管部局における施策の達成状況が適切に表現できない場合等に総合計画第3次実施計画掲載事業（個別事業）の達成状況により、施策の達成状況を補完することとしています。必要に応じて記載してください。記載に当たっては別添「第3次実施計画掲載事業評価指標等シート」に基づき記載してください。

**7 成果指標を補完する主な指標の達成状況（主な第3次実施計画掲載事業の評価結果）**

実施計画掲載事業名	指標名	評価実施年度	目標値	実績値	1次評価結果	最終評価

## 7 施策の課題認識と解決の方策

### 施策の課題と1次評価

#### 8 施策の現状の課題認識と解決の方策

課 題	解決の方策

#### 課題

高知市民意識調査結果における、各施策に対する重要性や満足度指標の動向や成果指標の達成状況などを参考に、施策実施に当たっての資源（人・物・金）などの様々な課題を記入してください。課題認識のためには、現状を的確に把握し、施策のめざすべき姿とのギャップを明らかにする必要があります。

施策が複数の部局にまたがっている場合は、それぞれの部局の取組に応じた施策の現状の課題を記入してください。

- ・市民意識調査結果の満足度・重要度はどうか。
- ・施策の目的を実現するための取組は妥当か。
- ・成果指標は達成できるか。
- ・取組としての事業は妥当か。
- ・各種行政計画・方針等との連携・補完する関係はどうか。

#### 解決の方策

上記の課題に対する解決の方策を記入してください。

## 8 施策所管部局長による1次評価

### 9 施策所管部局長による1次評価

評 価		評価の理由
A：従来の取組を維持し，施策成果を維持する		
B：従来の取組を強化し，施策成果を向上させる		
C：従来の取組を見直し，施策成果を向上させる		
D：施策自体を見直す		

**評価** A， B， C， Dの4つの評価項目から選択してください。  
評価に当たっては，

- ①「基本計画成果指標又は成果指標を補完する主な指標の達成度及び今後の達成見込」
- ②「次年度以降の施策の取組の方向性」

に着眼して行ってください。

①「基本計画成果指標又は成果指標を補完する主な指標の達成度及び今後の達成見込」

ア：目標を達成している。又は，目標の達成が見込まれる。

⇒ 評価 A又はB

イ：目標の達成ができていない。又は，目標達成が，困難である。

⇒ 評価 C又はD

次に，②「来年度以降の施策の取組の方向性」の観点から評価する。

②「来年度以降の施策の取組の方向性」

ア：従来の取組の変更は必要なく，施策成果も取組方針に合致している。

⇒ 評価 A

イ：従来の取組を拡大・強化し，施策成果を更に向上させる必要がある。

⇒ 評価 B

ウ：従来の取組の見直し・再構築等を実施した上で，施策成果を更に向上させる必要がある。

⇒ 評価 C

エ：施策の基本的な取組方針を見直す必要がある。

⇒ 評価 D

**評価の理由** A， B， C， Dのそれぞれの評価とした理由を明確に記入してください。